2026 年 8 月 17 日（月）
デジタルグリッド株式会社

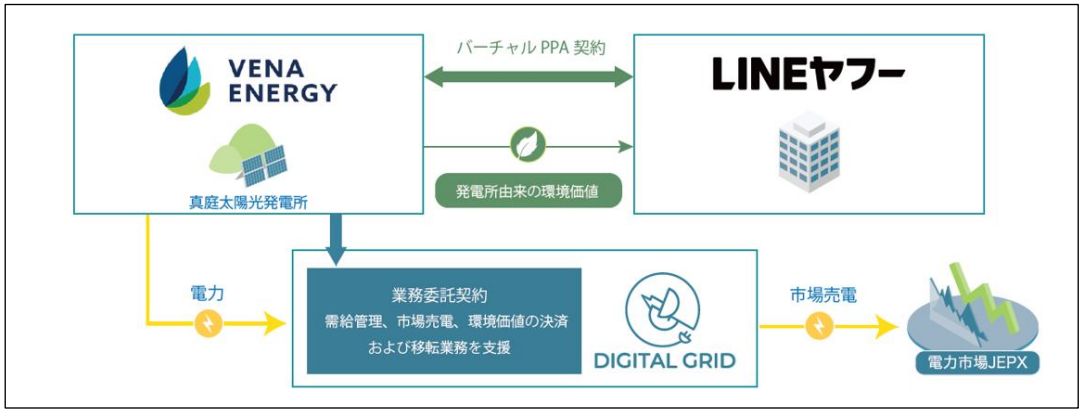
ゴルフ場跡地を活用した真庭太陽光発電所が運転開始
20 年間 LINE ヤフーへ環境価値を供給

デジタルグリッド株式会社（以下「当社」）は、ヴィーナ・エナジー[1]が建設した真庭太陽光発電所（岡山県真庭市）が、**2026 年 8 月 15 日に商業運転を開始**したことをお知らせします。本発電所で発電される電力の環境価値は、バーチャル PPA により LINE ヤフー株式会社[2]（以下「LINE ヤフー」）に 20 年間供給されます。本発電所では年間約 8,500 万 kWh の発電が見込まれ、LINE ヤフーは 20 年間で約 74 万トンの温室効果ガスが削減できる見通しです。

本件は、当社が提供する再エネ取引のマッチングプラットフォーム「RE Bridge®（アールイーブリッジ）」を介して需要家と発電家がマッチングした特別高圧の案件で、当社は発電量予測や需給管理、市場への電力販売などを担います。 https://www.digitalgrid.com/services/#re-bridge

当社はエネルギーの未来を切り拓く存在として多様なサービスを提供し、持続可能でエネルギー制約のない社会を目指し取り組んでまいります。





[1] 日本本社：東京都港区、代表取締役：ラウル・リエンダ・セビージャ

[2] 本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：出澤剛

真庭太陽光発電所について

真庭太陽光発電所は、ゴルフ場跡地を活用することで新たな森林開発を伴わず、自然環境への負荷低減に配慮して建設されました。また事業地域一帯を含むエリアを対象とした環境保全協定を真庭市と締結したほか、建設工事や運転・保守においては地元企業や人材を優先的に採用するなど、地域の雇用創出や経済活性化に貢献しています。

本件は、FIP（フィードインプレミアム）制度[3]を活用した当社独自のバーチャル PPA（GPA® [4]）を採用しており、2024 年 12 月時点で、バーチャル PPA 用の単体の太陽光発電所として国内最大規模の事例として 2025 年 1 月に公表しております（当社調べ）。

https://www.digitalgrid.com/pdf/article250117.pdf

「RE Bridge®」とは

再エネの「発電家」と電気を使う企業など「需要家」のマッチング（価格合意形成を踏まえた商談申込）を行う当社サービスです。
マッチングイベントへの参加は、申し込みを頂き所定の審査を経た会員（入会金・年会費無料）が対象です。

会社概要

会社名	デジタルグリッド株式会社 東証グロース市場 350A digitalgrid.com	**代表者**	代表取締役社長 CEO 豊田祐介
所在地	東京都港区赤坂 1-7-1 赤坂榎坂ビル 3 階	**設立**	2017 年 10 月
資本金	1,221 百万円 2026 年 4 月末時点	**従業員数**	105 名 2026 年 8 月 1 日現在
事業内容	電力及び環境価値取引プラットフォーム「DGP」運営 分散型電源アグリゲーションサービスの提供		
表彰	・アジア太平洋地域の急成長企業ランキング 2026 Energy & utilities 部門 国内 1 位 ・令和 7 年度 気候変動アクション環境大臣表彰		

[3] 再エネ発電事業者が卸電力市場等で売電したとき、その価格に対して一定のプレミアム(補助額)を上乗せする制度

[4] FIP 制度を活用した環境価値の直接取引の独自サービス名称。精算方法を工夫することで、需要家が購入する環境価値価格の変動を抑える設計

IR チームからのお知らせ
※RE Bridge（アールイーブリッジ）：当社の RE Bridge の詳細については、こちらをご覧ください。

※IR コンテンツのご案内：
- IR メール配信：適時開示情報をはじめとする IR 関連情報をタイムリーにご提供するメール配信中
- インベスターデータブック：財務データや非財務 KPI などを分かりやすく整理した数値データ集
- よくあるご質問とご回答：Notion にまとめて一覧で開示中

※2026 年 7 月 9 日に IR 説明会 湘南投資勉強会にて CEO 豊田が登壇、書き起こし・Q&A はこちら。